

輸出事業計画

※申請者名：JAかとり、品目：かんしょ

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・順調に輸出を拡大してきたが、新型コロナウイルスの影響で輸出量の減少などが発生している。
- ・国内需要も現状は堅調であるが、今後は人口減少に伴う供給過多が懸念される。
- ・そのため、販路拡大が重要と考え、東南アジアへの輸出拡大に取り組んでいる。

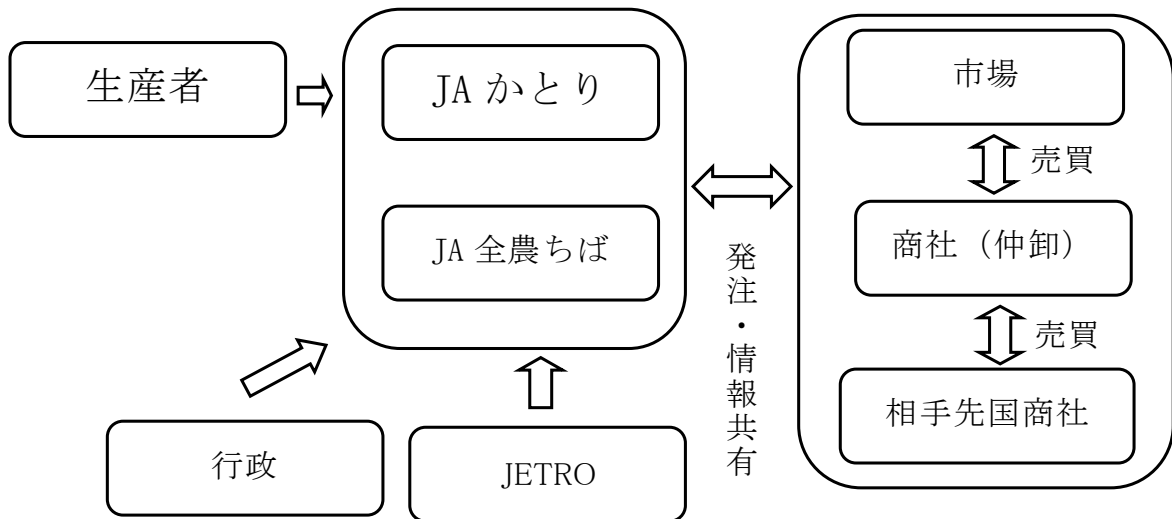
【課題】

- ・国内需要の高まりを受け、輸出数量の確保が難しい。
- ・輸出先ニーズに偏りがある。
- ・国内相場の上昇により、海外産との価格差が大きくなっている。
- ・輸出先での国内産地との競争増加
- ・各国での輸出規制・検疫条件などへの対応

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・輸出向けを含めた生産面積の維持・拡大
- ・輸出できる規格の拡大を目指し、加工品を含めた商談、販路拡大を実施
- ・ブランド力強化へ向けたPR、品質管理の強化
- ・他産地との連携による共同輸出
- ・輸出手続き体制の構築

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状	目標年
	(令和3年)	(令和7年)
輸出額(千円)	40,582	90,000
輸出量(t)	130	300
輸出先国	東南アジア	東南アジア